

Cisco Unified Communications Managerによる ボイスメールへのコールの直接転送

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定](#)

[概要](#)

[ボイスメールプロファイルの設定](#)

[CTIルートポイントの設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、任意のユーザのボイスメールグリーティングに直接転送するコールの設定方法について説明します。ユーザは、そのユーザの内線番号を呼び出すことなく、またオープニンググリーティングをナビゲートすることなく、コールをボイスメールボックスに直接転送できます。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ボイスメール プロファイルの設定
- コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) のルート ポイントの設定

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified Communications Manager 12.5
- Cisco Unity Connection 12.5

このドキュメントの情報は、次のようなさまざまなレガシーシステムを使用して検証済みです。

- Cisco CallManager 3.2.2 spD
- Cisco Unity

- デジタルAvayaシグナリングを使用してOctelに接続されたCisco Digital PBX Adapter(DPA)
- OctelにアナログシグナリングとSimplified Message Desk Interface(SMDI)を使用して接続されたCisco VG248 Analog Phone Gateway
- 任意のボイスメールシステムに接続されたCisco SMDI
- 宛先クラスタで上記のいずれかを使用するクラスタ間トランク(H.323)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

設定

概要

このドキュメントの設定を使用する場合は、アスタリスク(*)と内線番号をダイヤルすると、その内線番号に関連付けられているボイスメールボックスに発信者が直接ドロップされます。この機能は、ボイスメール プロファイルにボイスメール ボックスのマスクを設定し、これをアスタリスクに対応する新しく作成された CTI ルート ポイントに関連付けることで作動します。アスタリスク(*)はボイスメールボックスのマスクによって除去され、コールがボイスメールに送信されると、ターゲットメールボックスの内線番号が適切なシグナリングヘッダーに配置されます。

注：アスタリスクの使用は必須ではありません。このドキュメントでは、アスタリスク(*)を例として使用しています。アスタリスクの代わりに、任意の個別の番号シーケンスを使用できます。ほとんどの標準ダイヤルプランにはアスタリスクで始まるパターンがないため、アスタリスクのような特殊文字を使用して、この機能のダイヤルシーケンスを開始することは良い計画です。通常は、0 から 9 のような数値は使用しません。

ボイスメールプロファイルの設定

次の例に示すように、新しいボイスメールプロファイルを作成する必要があります。プロファイルは、ユーザの電話機に関連付けられたボイスメールプロファイルと区別するために、TransferToVMという名前が付けられています。ボイスメールパイロットには、現在設定されている代表番号を設定します。ボイスメールボックスのマスクには、5桁のダイヤル計画に合わせて、ワイルドカードのXXXXXが指定されています。4桁のダイヤルを使用する場合は、このワイルドカードをXXXXに設定します。

ダイヤルプランが何であれ、このワイルドカードは右から始まるダイヤル番号と一致します。マスクと一致する数字の前に文字が削除されます。

注意：このプロファイルをシステムのデフォルトのボイスメールプロファイルにはしないでください。

Voice Mail Profile Configuration Related Links: [Back To Find/List](#)

Status

 Status: Ready

Voice Mail Profile Information

Voice Mail Profile: TransferToVM (used by 0 devices)

Voice Mail Profile Name*

Description

Voice Mail Pilot**

Voice Mail Box Mask

Make this the default Voice Mail Profile for the System

 *- indicates required item.

 **- The Voice Mail Pilot is comprised of the Voice Mail Pilot Number and it's corresponding Calling Search Space Name (< Voice Mail Pilot Number >/< Calling Search Space >).

CTIルートポイントの設定

新しいCTIルートポイントを作成する必要があります。このセクションの例は、TransferToVMという名前のVMを示しています。この装置には、他と同様に、Device Pool、Calling Search Space、Locationを設定します。これはCTIルートポイントであり、CTIアプリケーションによって登録されることはなく、ディレクトリ内のユーザに関連付けることはできません。

CTI Route Point Configuration Related Links: [Back To Find/List](#)

Status

Status: Ready

Device Information

Registration: Unknown
 IPv4 Address: None
 Device is trusted
 Device Name*
 Description
 Device Pool* [View Details](#)
 Common Device Configuration [View Details](#)
 Calling Search Space
 Location*
 User Locale
 Media Resource Group List
 Network Hold MOH Audio Source
 User Hold MOH Audio Source
 Use Trusted Relay Point*
 Calling Party Transformation CSS
 Geolocation
 Use Device Pool Calling Party Transformation CSS

Association

[Line \[1\] - *15XXX in Internal PT](#)
 [Line \[2\] - Add a new DN](#)

*- indicates required item.

CTIルートポイント回線の設定によりこれが可能になります。この例では、[Directory Number]は*15XXXに設定されています。この設定は、すべてのメールボックスに転送するには*XXXXXと同様に簡単に設定できます。また、1つのユーザメールボックスに転送するには*15654と同じきめ細かい設定にすることができます。[ボイスメールプロファイルの設定(Configuration of the Voice Mail Profile for the Voice Mail Profile)]フィールドで作成したボイスメールプロファイルを選択し、[自動転送とピックアップの設定(Call Forward and Pickup Settings)]で[Forward All to voice mail]を選択します。

Directory Number Configuration Related Links: [Configure Device \(TransferToVM\)](#) Go

Save Delete Reset Apply Config Add New

Status
 Status: Ready

Directory Number Information

Directory Number* *15XXX Urgent Priority

Route Partition: Internal_PT

Description: Transfer directly to voicemail

Alerting Name: TransferToVM

ASCII Alerting Name: TransferToVM

External Call Control Profile: < None >

Associated Devices: TransferToVM

[Edit Device](#)
[Edit Line Appearance](#)

Dissociate Devices:

Directory Number Settings

Voice Mail Profile: TransferToVM (Choose <None> to use system default)

Calling Search Space: < None >

BLF Presence Group*: Standard Presence group

User Hold MOH Audio Source: < None >

Network Hold MOH Audio Source: < None >

Calling Line ID Presentation When Diverted: Determined by Last Hop

Reject Anonymous Calls

Directory Number Configuration Related Links: [Configure Device \(TransferToVM\)](#) Go

Save Delete Reset Apply Config Add New

forwarding history

Call Forward and Call Pickup Settings

	Voice Mail	Destination	Calling Search Space
Calling Search Space Activation Policy			Use System Default
<u>Forward All</u>	<input checked="" type="checkbox"/> or		< None >
Secondary Calling Search Space for Forward All			< None >
Forward Busy Internal	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward Busy External	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward No Answer Internal	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward No Answer External	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward No Coverage Internal	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward No Coverage External	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward on CTI Failure	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward Unregistered Internal	<input type="checkbox"/> or		< None >
Forward Unregistered External	<input type="checkbox"/> or		< None >
No Answer Ring Duration (seconds)			
Call Pickup Group			< None >

これで、誰でも直接ユーザメールボックスを呼び出すことができます（または、CTIルートポイントの電話番号に内線番号が含まれているユーザ）。複数の個別のボイスメールサーバがある場合は、それぞれにボイスメールプロファイルを作成する必要があります。回線を追加する場合は、同じCTIルートポイントを使用できます。これは、クラスタ間トランクでも動作します。

注：CTIルートポイントの電話番号の[Alerting Name (アラート名)]または[Display (内部発

信者ID) (内部発信者ID)]に「Voicemail (ボイスメール) 」という語を使用しないでください。「ボイスメール」という語を使用すると、Cisco Unityはコールを転送コールとして処理するのではなく、直接コールとして処理します。

確認

現在、この設定に使用できる確認手順はありません。

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [ユニファイドコミュニケーション製品のサポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)